

SNS管理運営事業

全世代で高い利用率のあるLINEサービスを導入することで、市情報の受発信機能を強化し、市民の利便性を向上させようとするもの。

1. 背景

- (1) パソコンの保有率: 減
- (2) スマートフォンの個人保有率: 増
- (3) LINEアプリの普及



【LINE年齢別利用率】

| 10代 | 20代 | 30代 |
|-------|-------|-------|
| 94.4% | 95.7% | 94.9% |
| 40代 | 50代 | 60代 |
| 89.3% | 86.3% | 67.9% |

出展:LINE社資料「LINE Business Guide」2021.7~12月期版

2. 市広報の課題

- (1) PUSH型通知による広報の必要性が高まっている。
- (2) HPを見ない人が、各種オンラインサービスを利用できるよう、ポータルサイトを整備する必要がある。
- (3) 市民がスマートフォンから即時に情報を提供するニーズが高まっている。
(※ただし個人情報を含むものは除く。)

市公式LINEを導入することで、市民がより手軽に、より早く市からの情報受信や市への情報提供ができるようになる。

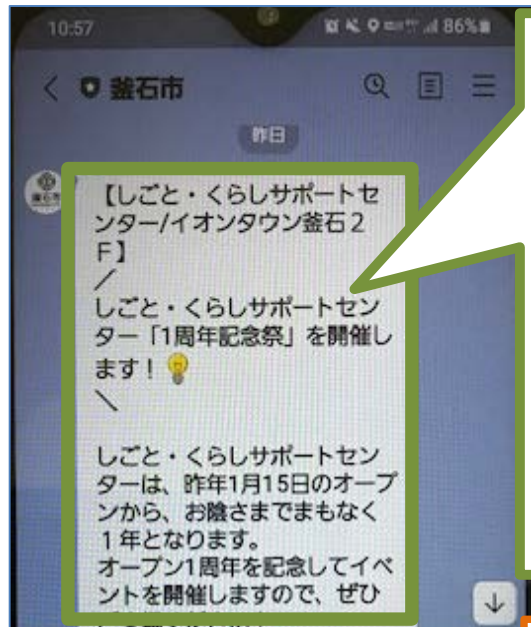
3. 補正予算の概要 (事業費計 957,000円の内訳)

- (1) LINE有料版導入初期設定(委託料) 627千円
- (2) LINE有料版利用料(基本料金+オプション料金) 330千円

4. 導入スケジュール (案)

| 年度 | スケジュール |
|----|----------------------------|
| R3 | 2月～ 無料版内容検討 |
| R4 | 4月～ 実現可能な有料機能選定・既存サービスとの調整 |
| | 7月 無料版運用開始 |
| | 9月 有料版メニュー決定 |
| | 1月 業者契約 |
| | 3月 有料版運用開始 |

5. イメージ (画面は釜石市公式LINE)



【トークライン発信(例)】

- ▶注意喚起情報
- ▶市のイベント情報 など

すぐ受け取って欲しい、確実に知って欲しい情報をPUSH型通知で発信。

※有料版は、市民が欲しい情報を選択して受け取れる「セグメント配信」が可能。



【コンテンツメニュー(例)】

- ▶各種オンラインサービスへのリンク(電子申請等)
- ▶休日当番医や避難所など需要の高いHPページへのショートカット

「持ち歩ける市役所」を意識したコンテンツを配置。

※有料版は、12個までメニュー設定が可能。

例:メニュー「防災情報」を押すと、HPの避難所一覧ページへリンクする。

※県内LINE導入自治体
釜石市、久慈市、大船渡市、金ケ崎町